

専修学校における被災者支援ボランティア活動

専修学校では、東日本大震災の発生以降、全国専修学校各種学校総連合会からの呼びかけ等を踏まえ、その専門性の高い知識・技能を活かしながら、被災地の避難所等において被災者支援に係るボランティア活動を行っています。

【衛生関係分野】

調理師・製菓衛生師を目指す生徒

○中央歯科衛生士調理製菓専門学校（静岡県） 4月14日

学校の実習により身に付けた技術を活かして菓子マドレーヌを約1000個作成し、被災地へ届けた。



○武蔵野調理師専門学校（東京都） 4月30日

避難所である旧騎西高校にて、カレーライス、杏仁豆腐をボランティア炊き出しを行った。



○中央調理製菓専門学校静岡校（静岡県） 5月10日

学校の実習により身に付けた技術を活かして学生約10名が、菓子（マドレーヌ・フィナンシェをそれぞれ500個）を作成し、被災地に届けた。

調理師・製菓衛生師・ホテル観光業を目指す生徒

○仙台YMCA国際ホテル専門学校（宮城県）

5月2日

姉妹校（製菓衛生師養成施設）と合同で、学生らが実習により身に付けた技術をいかして、パン500個を製作し、宮城県本吉郡南三陸町において、避難生活をされている方やボランティアに提供した。

【医療関係分野】

介護福祉士を目指す生徒

○東京福祉専門学校（東京都）

4月25日～5月1日

教職員2名、学生9名が、被災地である岩手県大船渡市のグループホーム2箇所、老人保健施設1箇所を訪問し、学習により身に付けた知識等をもとに、傾聴、生活支援、環境整備等の活動を実施。

柔道整復師・鍼灸師を目指す生徒

○北海道ハイテクノロジー専門学校・北海道エコ・コミュニケーション専門学校（北海道）

4月30日～5月5日

学生、卒業生、教員あわせて12名が、被災地である気仙沼において、学習により身に付けた技術を活かして、仮設治療院を開設し、マッサージ・生活支援等の活動を実施。



歯科技工士を目指す生徒

○東北歯科技工専門学校（宮城県）

4月18日・19日

長期の避難所生活を送る、高齢者の肺炎感染予防の一策として重要な入れ歯のメンテナンスのため、学生が、入れ歯ケースと洗浄剤の詰合せを1000セット作成し避難所に送付。



【教育・社会福祉関係分野】

介護福祉士・作業療法士・スポーツ指導者・保育士等を目指す生徒

○横浜YMCAカレッジグループ<横浜YMCA学院専門学校・YMCA福祉専門学校・YMCA健康福祉専門学校・横浜YMCAスポーツ専門学校>（神奈川県）

4月29日～5月2日・5月2日～6日

学生・教員等総勢30名が2つのグループに分かれ、第1陣は、宮城県亶理郡山元町のイチゴ農家においてビニールハウス内の泥の撤去作業、第2陣は、宮城県本吉郡南三陸町において炊き出し、海岸のがれきの撤去、民家の泥だし等の復興支援作業に従事。

社会福祉士・介護福祉士を目指す生徒

○中央福祉医療専門学校（栃木県）

4月13日～4月15日

学生ら19名が、被災した宮城県気仙沼市において、がれきの撤去、住宅の後片付け、テント設営、傾聴等の復興支援作業に従事。